

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 HITACHI DS3000 Anode Buffer  
供給者の会社名称 株式会社 日立ハイテク  
住所 〒105-6409 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号  
電話番号 03-3504-5768  
推奨用途 実験用化学物質

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類：区分に該当しない、或いは分類できない。

### GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル 無し  
注意喚起語 無し  
危険有害性情報 無し  
注意書き 無し

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性：情報無し

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物  
化学名又は一般名 HITACHI DS3000 Anode Buffer

化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は 濃度範囲	官報公示整理番号
			化審法・安衛法
水	7732-18-5	非開示	—
N-トリス(ヒドロキシメチル)メチル-3-アミノ プロパンスルホン酸	29915-38-6	1~5%	—
エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム	139-33-3	<0.1%	2-1265/—

## 4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移すこと。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹼で洗うこと。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

# 安全データシート

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 情報なし  
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 情報なし  
医師に対する特別な注意事項 情報なし

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤 炭酸ガス、粉末、水噴霧。大規模火災の場合、消火するために散水もしくは耐アルコール性泡消火剤を使用すること。  
使ってはならない消火剤 情報なし  
火災時の特有の危険有害性 本製品は不燃性であるが、火災時に有害ガスを発生するおそれがある。  
特有の消火方法 本製品は不燃性であるが、周辺火災に適した消火剤を使用する。  
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 必要に応じて適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 部外者を安全な場所に避難させる。  
保護衣を着用する。  
環境に対する注意事項 漏出物を地上あるいは下水等に流出しないようにする。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材 液体吸収材(砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず)で吸収する。  
二次災害の防止策 安全取扱い注意事項に関しては7項を参照する。  
廃棄処分に関しては13項を参照する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 取扱い後は接触部位をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
衛生対策 休憩前や終業時には手を洗うこと。  
保管 乾燥した換気の良い場所で保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)  
管理濃度：情報なし  
許容濃度：情報なし

## 安全データシート

生物学的許容値：情報なし

設備対策 取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具 適切な呼吸用保護具。

手の保護具 関連法令に適合する保護手袋。手袋の材質、品質及び耐久性を事前評価すること。

眼、顔面の保護具 関連法令に適合する保護眼鏡。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣。

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色
臭い	情報なし
融点/凝固点	0℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	100℃
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	本製品は自然発火しない
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	水：完全に混合できる
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1g/cm <sup>3</sup> (約 20℃)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
粘性率	情報なし
臭いの閾値	情報なし
爆発性	本製品は爆発する危険はない

### 10. 安定性及び反応性

## 安全データシート

反応性	既知の危険な反応性はない。
化学的安定性	通常の取扱い/保管条件では安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

### 11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性/刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

### 12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に記載されたオゾン層破壊物質を含まない。

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 本製品を地表、下水道、排水溝などに排出してはならない。 「7. 取扱い及び保管上の注意」と「8. ばく露防止及び保護措置」
-------	---

# 安全データシート

汚染容器及び包装  
の記載に従う。  
上記と同じ方法で処理する。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規則

#### 海上規則情報 (IMO)

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当

#### 航空規則情報 (ICAO/IATA)

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当

### 国内規制

陸上規制情報  
消防法、道路法の規定に従う。

海上規制情報  
船舶安全法の規定に従う。

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質 (該当/非該当)	非該当

航空規制情報  
航空法の規定に従う。

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の  
安全対策  
容器の破損、漏れがないように積み込み、荷崩れ防止を行う  
こと。

応急措置指針番号  
非該当

## 15. 適用法令

労働安全衛生法 (安衛)

## 安全データシート

---

法) 非該当  
毒物及び劇物取締法 非該当  
特定化学物質の環境への  
排出量の把握等及び 非該当  
管理の改善の促進に関  
する法律（化管法）

---

### 16. その他の情報

参考文献 (1) JIS Z 7252 : 2019  
(2) JIS Z 7253 : 2019  
(3) GHS 分類結果 (NITE)

本 SDS は、現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さを保証するものではありません、すべての化学品には未知の有害性があるため、取扱には細心の注意を払ってください。